

稲城野草散策の会

野草スケッチ ゲンゲ（マメ科）



1997/04/10 稲城市坂浜 絵と文 Ta

普通、レンゲソウと呼ばれているが、図鑑などではゲンゲという。
中国名をそのまま読んだものらしい。

ゲンゲの当て字？として、「紫雲英」の文字も使われる。

「蓮華草」は、花の形と色がハスの花に似ていることからの命名だそうだ。

会報第63号 2010年3月13日発行 発行責任者 尼子 房夫

日本の田園風景にしては華やかな雰囲気を持っているのも、中国から移入したものであるからだろうか。

色気の無い話で恐縮だが、ゲンゲの葉は食用になる。

毎年、七草摘み（コオニタビラコの項参照）とは別に、ロゼットオフなるものを行っていて、ゲンゲも食卓に上る。

たいていはテンプラにしているが、なかなか美味しい。

ロゼットオフについては、いつか項を改めて紹介しようと思う。

はるか先まで一面に広がったゲンゲ・・・こういう光景を観光ポスターなどでお目にかかることがある。

かつては、日本中どこにでもあった風景らしい。

そういえば、子供の頃の記憶でも、家の前にゲンゲ田があった。

田植え前に、花ごと田んぼへ漕きこんでいるのを見ると、何となく心が痛んだ。

あれは緑肥として、窒素化合物を田んぼへ供給するために植えているのだ、ということとは、当時は知らなかった。

観光ポスターのようなゲンゲは、日本の田んぼから消えつつある。

いや、観光用を別にすれば、もう消えてしまったのだと思う。

消えた原因は言わずもがなの化学肥料である。

わざわざゲンゲの種を蒔かなくても、窒素肥料はいくらでも供給できる。

肥料だけでなく、防虫、消毒、除草など、田んぼは薬漬けである。

メダカもタガメもいなくなってしまった。

農業の生産性向上のためとはいえ、寂しさはぬぐえない。なんていうセンチメンタリズムは、農業に携わったことの無い者のたわごとではあるが。

うれしいことに、私のフィールドである稲城市内の田んぼには、ゲンゲが残っている。

特定の田んぼではなく、街中の田んぼにも谷戸の田んぼにもある。

もちろん、「見渡す限り」というわけにはいかない。

積極的に種を蒔いて緑肥としているのではなく、以前に利用していた名残で、細々と生きつづけているという感じだ。

中には、田んぼの中には見られず、咲いているのは畦だけ、ということもある。

それでも、ゲンゲの花を見ると、ほのぼのとした気持ちが湧いてくるのだ。

蛇足ではあるが、ゲンゲには面白い性質がある。

ゲンゲは、たくさんの花が輪のように並んで咲いている。

咲いているとき、それぞれの花は一生懸命上を向いているが、受粉が終わるとうなだれたように下を向くのだ。

たぶん、受粉したての種の赤ちゃんが、鳥や虫などに狙われないよう、目立たなくしているのであろう。

やがて果実（豆の莢）が黒く熟してくると、ふたたび精一杯持ち上げる。種子をできるだけ遠くへ飛ばそうという動作らしい。

本などには書いてあることだが、自分で確認したときには、ちょっとした感動ものだった。

各段階の状態を同時にスケッチできればよいのだが、花が一番綺麗な時期を狙うと、まだ果実は形ができていない。

果実を描こうとすると、花は終わりがけだ。

ままならぬものである。（2000年5月記）

* * * * *

〔観察記録〕 2月14日 多摩美（たまみ）の森

約1ヶ月ぶりの観察会で、好天気ということもあって64名の参加者がありました。

今回は樹木・冬芽主体です。京王よみうりランド駅から新しく出来た道「よみうりV通り」を歩いて登りました。歩道には読売巨人軍の選手の名前、背番号、手型のプレートがうえこまれています。途中から左手の小道に入ると、これはかつての穴沢天神脇から小沢城址に登った道でした。小沢城址では、稲城で珍しいといわれていたナツハゼがなくなっていました。寿福寺では、マンサクの花が咲いていました。フルーツパークで昼食をとりましたが、ここは「農業技術支援センター」という名前に変わっていました。温室には工事中で入ることは出来ませんでした。

多摩美の森ではアキグミ、ナツグミ、オオバグミが見られ、植えられたハランの根元に花が咲いていました。

ここにはチャンチンの木もあります。漢字で書くと「香椿」、中国原産のセンダン科落葉高木です。小田急線読売ランド前駅まで歩いて解散しました。(FAM)

▼観察記録（番号順）

(01)コナラ、(02)アカシデ、(03)シラカシ、(04)テイカカズラ、(05)イヌシデ、

(06)ヤマアジサイ、(07)アラカシ、(08)ムラサキシキブ、(09)クサギ、(10)エゴノキ、(11)イロハモミジ、(12)イタヤカエデ、(13)イイギリ、(14)アカメガシワ、(15)ヤマザクラ、(16)ムクノキ、(17)カマツカ、(18)クヌギ、(19)コブシ、(20)アオハダ、(21)サワフタギ、(22)ヤマコウバシ、(23)ヤブムラサキ、(24)ガマズミ、(25)クロモジ、(26)ウワミズザクラ、(27)ツタ (ナツツタ)、(28)キツタ (フユツタ)、(29)サネカズラ (ビナンカズラ)、(30)クマシデ、(31)ツルグミ、(32)ツタウルシ、(33)モミジイチゴ、(34)ウグイスカグラ、(35)ナガバヤブソテツ、(36)リョウメンシダ、(37)イノデ、(38)シロダモ、(39)キブシ、(40)ホオノキ、(41)テリハヤブソテツ、(42)シマトネリコ、(43)マンサク、(44)オニドコロ、(45)ニフトコ、(46)オオイタビ、(47)オオバヤシャブシ、(48)テーダマツ (3葉ノ松)、(49)コウヤボウキ、(50)コゴメウツギ、(51)イヌザクラ、(52)コバノガマズミ、(53)ミズキ、(54)イボタノキ、(55)マユミ、(56)エノキ、(57)フジ (ノダフジ)、(58)シロヤマブキ、(59)クマノミズキ、(60)アキグミ、(61)ナツグミ、(62)オオバグミ (マルバグミ)、(63)ヒメコウゾ、(64)アズマネザサ、(65)モウソウチク、(66)ハリギリ、(67)ゴンズイ (FAM)

▼ハランの花

ハランの花が咲いていました。

なんとおもしろい姿なのでしょう。

どうゆう構造をしているのでしょうか。オシベ・メシベはどこ？ (ぽんこ)

ハランは何科？ ユリ科でした。学名は、*Aspidistra elatior*

しかし、新しい分類によると、ナギイカタ科ハラン属に変わっています。



〔行事予定〕 2010/3/13（土） 筑波実験植物園

項 目	説 明
集 合	am 9時45分 、つくばエクスプレスつくば駅改札口を出たところ ※会旗目標 バスが 10:00 に発車します。早めにお集まり下さい 〈A3〉出口から出たところがバス乗り場です
交 通	つくばエクスプレス秋葉原駅からつくばエクスプレスをご利用下さい 秋葉原駅9:00発快速→つくば9:45着 〔先行8:30→9:15〕 秋葉原駅8:50発区間快速→つくば9:46着 〔先行8:20→9:12〕 料金は片道1150円（各自負担）、往復乗車券もあります つくばセンターからバス（テクノパーク桜循環・5番乗り場 10:00 発〔先行9:30〕に乗ります） 筑波実験植物園前下車 料金160円（各自負担）
行く先 (解散場所)	筑波実験植物園園内観察、pm4時頃解散予定
料金	別に入園料300円（各自負担）、65歳以上無料（要証明書）
見所 その他	シダ植物ほか

※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔インターネット上で見る事が出来る情報〕

筑波実験植物園のHP

<http://www.tbgekahaku.go.jp/>

筑波実験植物園の園内案内図（pdf ファイルです）

http://www.tbgekahaku.go.jp/introduction/summary/imgs/printmap_garden.pdf

筑波実験植物園の保有植物リスト（pdf ファイルです）

（シダ植物は、〈目録〉をクリックして、7～28ページです）

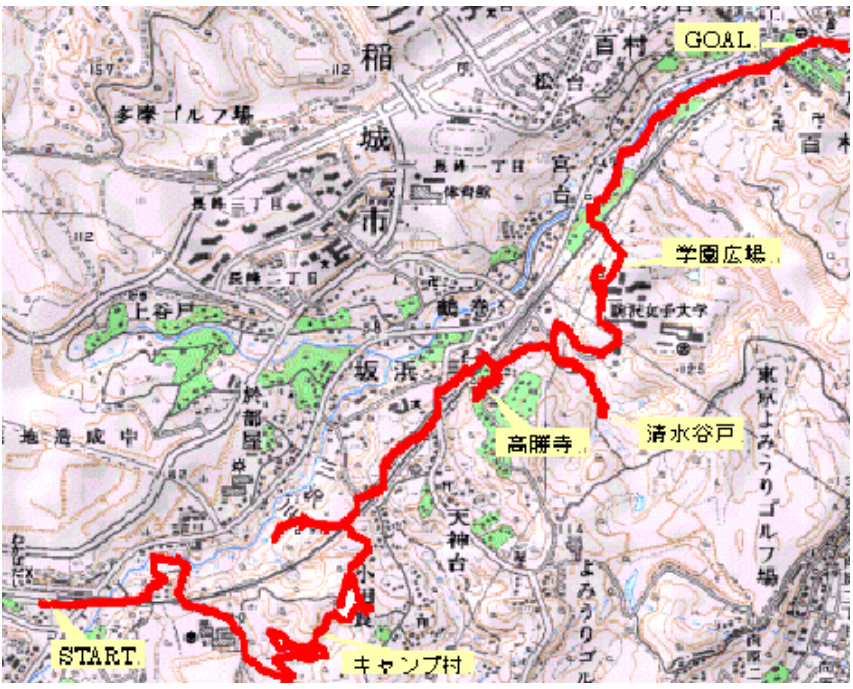
<http://www.tbgekahaku.go.jp/recommend/plant/pdf/2008-2.pdf>

〔行事予定〕 2010/3/27（土） 奥多摩溪谷

項 目	説 明
集 合	am10時、JR青梅線・奥多摩駅前 ※会旗目標 奥多摩駅の改札口は一つです
交 通	奥多摩駅はJR青梅線の終点です 新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速おくたま号」が 便利です。ホリデー快速の後ろ4両は五日市行きですので、前6両 に乗ってください ホリデー快速時刻表 新宿発8：19→立川8：47→奥多摩着 9：50
行く先 (解散場所)	東京都奥多摩町、(解散) 鳩の巣駅15時半頃
見所 その他	スプリングエフェメラル
地 図	
コース	奥多摩駅前～長畑～神庭～海沢～数馬溪谷～白丸湖～鳩ノ巣溪谷 ～鳩ノ巣駅 コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません

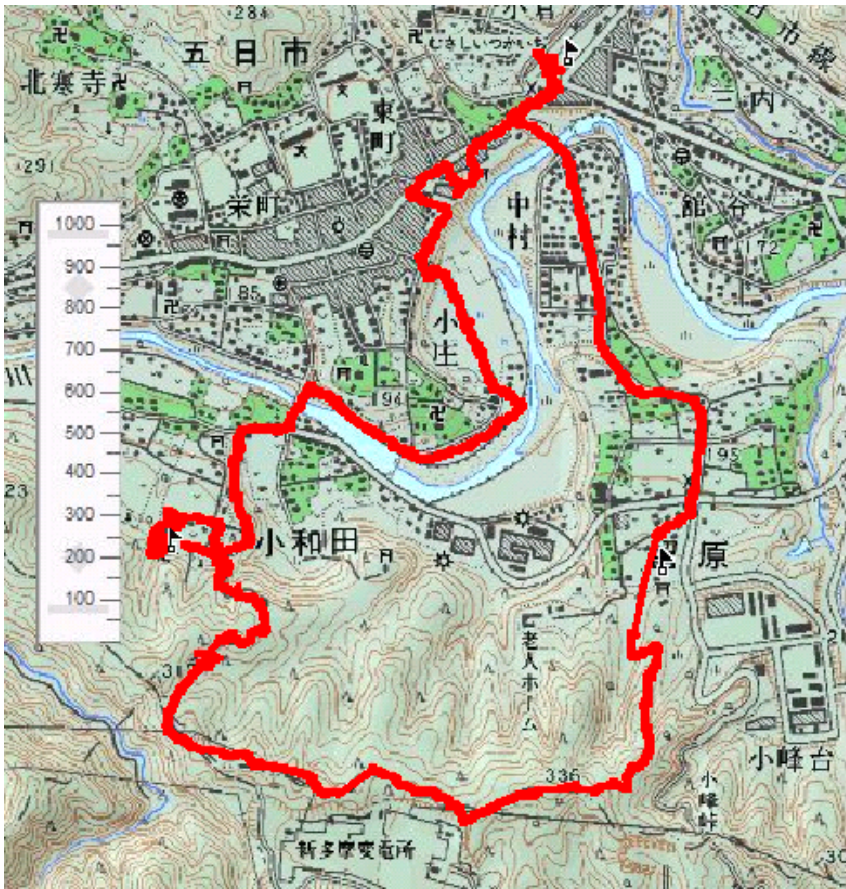
※ 小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2010/4/3（土） 三沢川下り

項 目	説 明
集 合	am10時、京王相模原線・若葉台駅 改札口付近 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 多摩モノレールの場合、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 小田急線の場合は、永山駅または多摩センター駅で京王線に乗換え 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	若葉台駅から三沢川に沿って稲城駅まで歩きます。 稲城駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	三沢川流域には雑木林や谷戸田など、豊かな自然が残っています スミレ、シロボウエンゴサク、イチリンソウ、タマノカンアオイ、 クチナシグサ、ノジスミレ、ゲンゲ、ふれあいの森でヤマドリソウ などの花が見られると思います
地 図	
コース	若葉台駅→稲城高校前→稲城ふれあいの森周辺→天神台→高勝寺→ 清水谷戸→駒沢学園→百村→京王稲城駅（解散） 行程5～6km、アップダウンはほとんどありません コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2010/5/9（日） 小峰公園

項 目	説 明
集 合	am10時、JR五日市線武蔵五日市駅 改札口付近 ※会旗目標 JR五日市線武蔵五日市駅の改札口は一個所だけです
交 通	JR五日市線の終点です JR立川駅9：10→武蔵五日市駅9：40が便利です
行く先 (解散場所)	JR五日市線武蔵五日市駅から小峰公園へ 武蔵五日市駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	ヤマブキシウ
地 図	
コース	武蔵五日市駅前～小庄～小和田～広徳寺（昼食）～新多摩変電所裏 ～小峰公園～留原～中村～武蔵五日市駅（解散）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円